

OKINAWA GENERAL CONSTRUCTORS ASSOCIATION

# 沖建協会報



令和6年

5  
月号

No.648

## 今月号の主な内容

- ◆ 令和6年度新入社員向け研修会実施
- ◆ 実践型人材育成訓練がスタート
- ◆ 各支部が支部総会を各地で開催



## 目次

### <NEWS>

令和6年度新入社員向け研修会を開催……………	1
令和6年度実践型人材育成訓練を開講……………	2
高校就職指導担当者に沖建協の取組紹介……………	2
県内工業高校教諭と入職促進で意見交換……………	2
第6回おきなわ建設フェスタ11月10日開催を決定……………	3
沖縄労働局の西川局長が離任あいさつ……………	3
沖縄防衛局の太田調達部長と三沢氏が沖建協表敬……………	3
各支部が総会開催……………	4
黒島氏が新支部長に就任【那覇支部】	
徳元支部長の再任を承認【南部支部】	
内間氏が新支部長に就任【浦添・西原支部】	
石川氏が新支部長に就任【中部支部】	
仲程支部長が再任【北部支部】	
新支部長に友利氏【宮古支部】	
平良氏が新支部長に就任【八重山支部】	
青年部会総会で古波蔵氏が部会長に就任……………	8
1級建築施工管理検定合格目指して講習会開催……………	8
支部活動報告……………	9
浦添・西原支部が施設整備の現場を視察	
那覇支部が道路ボランティア活動で表彰	
宮古支部がトライアスロン大会に寄付金贈呈	
那覇支部、南部支部が防犯パトロール実施	

### <メッセージボード>

現場における「働き方改革」の推進に向けた取り組みについて……	11
--------------------------------	----

### <お知らせ>

教えてください！我が社の働きやすい職場づくり……………	12
西日本建設業保証からのお知らせ……………	13

### <建設雇用改善推進コーナー>……………

### <Message～後輩たちへ>……………

### <事務局から>

協会の動き……………	16
今後の日程……………	17

### <会員の異動>……………

### 〈表紙写真〉

【青年部会第15回フォトコンテスト  
～島の魅力～優秀作品より】

〔人の部 みんなの公共土木賞〕

題 名：さあ！行くぞ！

撮 影 者：金城 信博

撮影場所：沖縄市

## 新入社員向け研修会を開催

ビジネスマナーや建設業について学ぶ

沖建協会員企業の新入社員らを対象にした「令和6年度新入社員等研修会～建設フレッシュマンの人間力アップを目指して～」が開催された。

若年建設従事者の入職促進を図るとともに、職場への定着や資質の向上に資するため、日建学院と連携して開催されたもので、4月8・9日は中部地区(会場・日建学院うま校)、11・12日は那覇地区(会場・建労センター)で開かれた。

研修会の開講式で、久高唯和総務部長は「参加者の皆さんは、会社は違っても業界の同期である新たな仲間となる。この研修を通して、仕事に関する相談や情報交換ができる関係を築いて成長してほしい」などと激励した。

研修1日目は、キャリアコンサルタントの松園あかね氏が講師を務めて、ビジネスマナーやメンタルヘルスの座学や実践研修を行った。松園氏は「挨拶や自己紹介などをしっかりすることで自身や会社の印象が変わる。研修でしっかり身に付けて普段の仕事でも実践してほしい」などと呼び掛け、参加者はビジネスマナーや挨拶・お辞儀、敬語の使い方、電話対応などを実践しながら学んだ。

研修2日目は、建設フレッシュマンの心得や建設現場の工程映像などによる研修のほか、専門講師による分科会が行われ、「BIM/CIM学習会」「GLOBE学習会・VR体験会」のほか、三善建設(株)の宮里佳斉社長が建築土木について、(株)エー・アール・ジーの池間守社長が設計について講話した。また、日建学院の担当者による資格ガイダンスも行われ、建築土木「施工管理試験について」、設計「建築士試験について」の説明も行われた。

受講者は1日目2日目ともに研修内容に関するレポート作成・提出を行い、2日目の最後には修了式が行われ、参加者が2日間の研修を終えた。

研修には中部地区46人、那覇地区55人が参加。北部地区(3・4日開催予定)は3日の台湾東部地震による津波警報の影響から中止となった。



中部地区の受講の様子



中部地区の受講者の皆さん



那覇地区の受講の様子



那覇地区の受講者の皆さん



## 令和6年度実践型人材育成訓練を開講

令和6年度実践型人材育成訓練が4月16日から、那覇市的那覇地域職業訓練センターで開講した。沖建協会員企業の新入社員を対象にしたもので、今年度は合計59人が土木学科コース21人と建築学科コース38人に分かれ、6月11日まで安全衛生や施工管理、積算などの講義を受講する。

開講式では、沖建協の久高唯和総務部長が受講者を激励したあと、講師を務める徳元将康氏（土木学科コース）、玉城保氏、成底佐一郎氏（建築学科コース）が受講の心構えを説いた。成底氏は「皆さんは沖縄を代表する各企業から派遣され、将来は沖縄を牽引する存在になる。もう学生ではないので、訓練では社会人に向けた指導を行う」と気を引き締めた。

同訓練は、平成22年度から実施し今回で15回目で延べ677人が受講し、修了者には職能協会より修了証書が交付される。



訓練に臨む参加者



講師を務める徳元氏(左上)、玉城氏(右上)、成底氏(左)

## 高校就職指導担当者に 沖建協の取組紹介

令和6年度県立高等学校就職指導担当者等連絡協議会が4月15日、沖縄市の県立総合教育センターで開催された。高校生の就職問題・課題の解決に向けた取り組みや指導者の資質向上を目的に、県教育委員会の主催で行われたもので、各高校の就職指導担当教諭らが参加した。

協議会では各担当者による行政説明などのほか、沖建協から人材確保事業（東海工業との連携）を説明。学生にとって就業への道を大きく広げ、幅広い人材育成（普通科、離島学生など）が可能となるなどと建設業への入職促進を説明した。



各高校の担当者が参加した

## 県内工業高校教諭と 入職促進で意見交換

4月18日、建労センターで令和6年度工業高校教諭との意見交換会が開催された。

初めに昨年度に実施した現場見学会の概況を紹介したあと、今年度のスケジュールを確認。沖建協の源河忠雄専務理事は「現場見学会は保護者の参加も認めている。保護者が建設業に対する理解を深めることも重要」と指摘し、対応を求めた。

このほか、6月開催予定の合同企業説明会や資格取得支援、その他の入職支援事業なども紹介した。



今年度の学生向けの取り組みなどを紹介した



## 第6回おきなわ建設フェスタ11月10日開催を決定

おきなわ建設フェスタ実行委員会(津波達也委員長)が3月25日に那覇市の産業支援センターで開かれ、第6回おきなわ建設フェスタを今年11月10日に沖縄市の県総合運動公園で開催する方針を決定した。

津波委員長は「去年は多くの来場者で盛況となった一方で、待ち時間の長さや分かりにくさなどの課題も確認されている。次回はそれらの改善も進めていきたい」と述べ、より多くの人に建設業の魅力発信となるイベントに期待を込めた。



実行委員会で今年のフェスタ開催を承認した(左上)、議事を進行する津波委員長(右上)、昨年も多くの来場者が訪れた(左)

## 沖縄労働局の西川局長が離任あいさつ

沖縄労働局の西川昌登局長が3月26日に離任あいさつのため来協し、津波達也会長と新里英正副会長が対応した。西川局長は約2年半の沖縄勤務を振り返り「どう安全を確保していくか、人手を確保するか、様々な課題はあるが、『問題』ではなく『チャレンジ』と考えて、今後も現場の処遇改善に努め、若年層の人材確保につなげていってほしい」と話した。

津波会長は「業界は課題解決に向けて努力している。この機会をチャンスだと受け止めて、働き方



離任あいさつに訪れた西川局長(中央) 改革に努めたい。2年間大変勉強させられた。今後の活躍に期待している」と労った。

## 沖縄防衛局の太田調達部長と三沢氏が沖建協表敬

3月27日、沖縄防衛局の太田誠二調達部長が4月1日の人事異動で後任者となる三沢大輔氏と共に来協し、津波達也会長らにあいさつした。

太田調達部長は「皆さんが協力的で防衛施設の整備が進んだ。大変助かった。これからも施設整備に協力してほしい」と呼び掛けた。後任の三沢氏は「取り組まなければならない施設整備がたくさんあるので、皆さんと連携して着実に進めていきたい」との考えを示した。

津波会長は「防衛関連の整備について、皆さんと協力して進めていきたい。今後ともよろしくお願



左から呉屋副会長、三沢氏、太田部長、津波会長、新里副会長 いします」と話した。沖建協からは津波会長のほか、新里英正副会長、呉屋明副会長、源河忠雄専務理事らが同席した。

## 支部活動報告

## 各支部が通常総会開催 5支部で新支部長が就任

4月17日から19日にかけて各支部の通常総会が開催された。今年度は役員改選期で、那覇支部は黒島一洋支部長、浦添・西原支部は内間司支部長、中部支部は石川裕憲支部長、宮古支部は友利勝人支部長、八重山支部は平良聡支部長が新たに就任。南部支部の徳元猛支部長と北部支部の仲程俊郎支部長は再任された。コロナ禍が収束したことで、観光関連産業を中心に県内景況の回復が期待されている一方で、今年4月からは時間外労働の上限規制が建設業界にも適用されるなど、新たな課題への対応も求められる状況となっており、各支部と本部の連携で山積する課題解決が期待される。



那覇支部 黒島 一洋支部長



浦添・西原支部 内間 司支部長



北部支部 仲程 俊郎支部長



八重山支部 平良 聡支部長



南部支部 徳元 猛支部長



中部支部 石川 裕憲支部長



宮古支部 友利 勝人支部長

## ■黒島氏が新支部長に就任【那覇支部】

那覇支部(長山宏支部長)は4月18日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで第39回通常総会を開催。任期満了に伴う役員改選で、支部長に黒島一洋氏(先嶋建設㈱)を選任した。黒島新支部長は「皆さまの力と知恵を借りながら、建設業における問題点の解消に取り組み、那覇支部会員企業の発展に尽力したい」と就任挨拶を述べた。

総会では、令和5年度事業報告および決算報告書の承認、令和6年度事業計画(案)および同予算(案)の承認、役員改選の3議案を審議。令和6年度事業計画案では、①協会本部の事業活動推進②公共工事発注の適正積算・適正工期などの要請活動③労働災害防止対策の推進④技術および技能向上を図るための講習会、研修会の開催⑤福利厚生事業の実施⑥社会貢献事業の実施⑦専門委員会活動の推進⑧CPDS講習会の開催⑨支部



懇親会には多くの関係者が参加した

経営の健全化一の9項目を重点事項に揚げた。

総会後には懇親会が開かれ、那覇市の古謝玄太副市長、野原義孝那覇市議会議員、仲嶺智南部土木事務所所長らも出席し、会員企業らとの親睦を深めた。

※役員改選の主な結果は次の通り(敬称略)。

▽支部長=黒島一洋▽副支部長=伊志嶺匡、平良修一、糸数幸恵▽監事=小波津英慎、佐平龍太



## ■総会で徳元支部長の再任を承認【南部支部】

南部支部(徳元猛支部長)は4月17日、糸満市のサザンビーチホテル&リゾートで第63回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、徳元支部長の続投を決定した。副支部長には照屋正人氏(株照屋土建)、赤嶺武信氏(株東洋土建工業)、本部憲治氏(株三大土木産業)の再任が決まった。

総会で徳元支部長は「時間外労働の上限規制が建設業にも適用され、更なる生産性向上に向けた取り組みが必要になり、受注者、発注者間で共通の認識で働き方改革に努めることが重要になる」と強調。「南部支部として公共工事における会員企業の優先活用をはじめ、受注拡大に向けた取り組みを進めたい。またボランティア清掃や防犯パトロールなど、地域に貢献できる活動にも積極的に取り組む」と抱負を述べた。

令和6年度事業計画では、重点目標として①建設工事量の継続的拡大②公共工事の南部支部協



令和6年度の事業計画などを審議した  
会会員優先活用の要請③労働災害防止と安全パトロールの実施④建設工事から暴力団等の徹底排除の推進(協会本部と一体事業として取り組む)⑤人材育成調査研究—の5項目を掲げて取り組む方針を決定。これらを踏まえ、災害復旧支援等をはじめ、労働災害の防止の強化、支部会員の技術力向上を図るCPDS講習会等の開催等を実施する予定。

## ■内間氏が新支部長に就任【浦添・西原支部】

浦添・西原支部(名嘉太助支部長)は4月19日、建労センターで令和6年度通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で新支部長に内間司氏(株内間土建)を選出した。副支部長には、安慶名健氏(株りゅうせき建設)、大嶺健一郎(株沖縄工設)、喜名景秀氏(株大成ホーム)が選任され、名嘉支部長は相談役に就任した。内間支部長は「資材高騰や担い手不足、時間外労働の上限規制など課題が山積している。浦添市、西原町を住みやすい明るいまちにするために、スピード感を持って力強く取り組みたい」と抱負を語った。

議事では「令和5年度事業報告並びに同収支決算」、「令和6年度事業計画(案)並びに同収支予算(案)」、「任期満了に伴う役員改選」について審議を行い、いずれの議案も承認された。事業計画では、西原町MICE事業推進や都市モノレール延伸、浦添市振興策早期着工への取り組み、キャン



支部会員・来賓らが参加して懇親会を行った  
プ・キンザー跡地利用計画の勉強会(要請含む)のほか、浦添市・西原町発注工事の計画的・安定的な公共事業の確保やキャンプ・キンザー返還、那覇軍港移設に伴う工事の地元優先発注の要請活動などに取り組むとした。

懇親会では、浦添市の新垣剛副市長や西原町の崎原盛秀町長も参加して懇親を深めた。



## 支部活動報告

## ■石川氏が新支部長に就任【中部支部】

中部支部(津波克守支部長)は4月18日、沖縄市の中部建設会館で第70回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で(有)国吉組の石川裕憲氏が新支部長に就任した。副支部長は、島袋利貞氏(株)大興建設)が再任され、太田秀吉氏(太田建設(株))と津波克守氏(光南建設(株))、大石根史氏(株)丸石建設)が新たに選任された。

支部長に就任した石川氏は「4月から時間外労働の上限規制が建設業でも適用され、会員各社対応を求められる。適正な工期設定や最低制限価格の引上げなど、発注者と連携して取り組む」と抱負を述べ「建設業は沖縄のリーディング産業であり、なくてはならない業界。明るい建設業を目指し、中部支部を盛り上げていきたい」と意欲を示した。

議事では令和5年度事業報告と収支決算報告、令和6年度事業計画案と予算案について審議し、原案通り承認した。令和6年度事業では、新規会員



令和6年度の事業計画や役員改選などを審議した入会の促進をはじめ、公共事業における会員企業の受注機会拡大要請、働き方改革に伴う生産性向上による労働環境改善への取り組み、防災協定に伴う災害復旧支援の支部体制の整備と防災訓練への対応、労働災害防止対策の推進—など12項目に取り組むとした。

## ■仲程支部長が再任、副支部長に新里氏、伊波氏、玉城氏【北部支部】

北部支部(仲程俊郎支部長)の第69回通常総会が4月18日、名護市のホテルゆがふいんおきなわで開かれ、任期満了に伴う役員改選の結果、仲程支部長(仲程土建(株))の再任を決定した。副支部長には、新たに伊波一人氏(有)マル井建設)と玉城進一氏(株)タマキ)を選任。新里勝則副支部長(株)北勝建設)は再任された。

総会では、令和5年度の事業報告や令和6年度の事業計画案などを承認。事業計画では、沖建協本部と連携した災害時事業継続計画(BCP)の強化、建設業協会及び建設業福祉共済団(法定外労災)・工事総合補償制度(第三者賠償・工事・見舞金補償)への加入促進啓蒙などを新たに盛り込むなど22項目を掲げた。

総会後の懇親会で仲程支部長は「建設業では、慢性的な人材不足に加え資機材等の高騰や賃金アップ、4月から適用されている時間外労働の上限



総会後の懇親会で乾杯する参加者ら  
規制など日々様々な状況に直面しているが、多岐に渡る情報を共有し、皆さまの協力を得ながら、働いている全ての人々が満足できるよう業界の社会的地位向上と人材育成を継続しながら北部地域のますますの発展に尽力したい」などと話した。

懇親会では、北部振興会の知花靖会長(国頭村長)の音頭で乾杯し親睦を深めた。

## ■新支部長に友利氏、副支部長に川平氏、川満氏が就任【宮古支部】

宮古支部(平良正樹支部長)は4月19日、宮古建設会館で第64回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で新支部長に副支部長の友利勝人氏(株)翔南建設代表)を選任した。副支部長には川平勲氏(株)川平建設代表)と川満明氏(株)丸玄建設代表)がそれぞれ就任。平良正樹氏と新里勝利氏は監事に就任した。

新支部長の友利氏は「業界では資材価格の高騰や慢性的な人材の不足など様々な課題が山積し、さらに時間外労働の建設業への上限制限適用の対応も必要となっている。会員一同がこれらの課題解決に向けて団結して取り組んでいけたらと思っている。宮古地域の経済を支えるためにも、建設業が役割を果たしていくことが重要で、そのために一生懸命努力していく」と就任の抱負を述べ、協会活動への協力を呼び掛けた。



新年度の事業計画などを審議した

議事ではこのほか、令和5年度事業報告と収支決算、令和6年度事業計画案などを審議し、原案通り承認した。このうち令和6年度事業計画では「受注拡大確保に係る要請活動」、「若年従事者の雇用拡大確保」など5項目を事業活動の重点事項として掲げ、関連団体と連携して事業推進していくことを決めた。

## ■平良氏が新支部長に就任、副支部長に丸尾氏と照屋氏【八重山支部】

八重山支部(米盛博明支部長)は4月19日、石垣市の八重山建設会館で令和6年度通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で新支部長に副支部長の平良聡氏(株)八重山工業)を選出した。副支部長には、新たに照屋晃氏(照屋建設株)を選任。丸尾剛氏(丸尾建設株)は再任された。

新たに支部長に就任した平良支部長は「これまで米盛氏が積み上げてきたものを土台に、八重山のためにいろいろ考えてやっていきたい。会員の皆さまの意見をしっかりと聞きながら課題解決に取り組んでいく」と話した。

総会では、役員改選のほか、令和5年度の事業報告や令和6年度の事業計画案などを審議、承認した。令和6年度の事業計画では、公共工事への会員企業優先活用や時間外労働の上限規制を踏まえた工期設定への働きかけを行うほか、建設業の生産性向上、業界内外の連携による働き方改革



令和6年度事業計画などを確認した

推進などの取り組みを展開するとした。

総会後に開催された懇親会では、石垣市の中山義隆市長も参加。会員らが新体制のもと、支部の更なる発展に向けて懇親を深めた。

## 青年部会長に古波蔵氏が就任

沖縄県建設業協会青年部会(大石根史部会長)は4月15日、那覇市の船員会館で第33回通常総会を開き、任期満了に伴う役員改選で、新部会長に古波蔵太志氏を選出した。副部会長には、糸数幸恵氏、大城壮司氏、安次富長邦氏が新たに選出された。古波蔵部会長は「青年部会に長年携わってきた経験を生かし、業界のイメージアップ事業をはじめ会員と連携し、青年部ならではの活動を展開していきたい」と抱負を語った。

総会では、2023年度事業報告や同年度収支決算、24年度事業計画案と予算案などを承認した。24年度計画案では、関係発注機関や関係団体との意見交換会をはじめ、フォトコンテストや献血キャンペーンなどイメージアップ事業を展開している。また九州建設青年会議と県外視察研修会に関連する事業も盛り込んだ。

総会後には、働き方改革推進支援センター(眞喜志智子センター長)による「若年層に選ばれる企業になる!魅力UPと定着率向上セミナー」と題した基調講演が行われた。講師を務めた比嘉氏は、県内における新規学卒者の3年以内離職率が全国に比べて高いと指摘。若年者の離職理由について、仕事上のストレスが最も多く、給与面の不満や



大石根部会長(右端)の進行で議事を進めた



新たに部会長に就任した古波蔵氏



基調講演を行う比嘉氏

長時間労働なども挙げた。社員のモチベーションアップのポイントについて、適切な賃金設定や労働時間、快適な職場環境、休日の確保、良好な対人関係を最低限の条件とし、仕事の達成感や能力向上、自己実現に取り組むことが重要と話した。労務管理については、トラブル防止のために就業規則を整備することが必要と指摘。就業規則の定め方として、実態に合った内容にすることや法令に定める条件を満たすこと、分かりやすく作るなどポイントを説明した。

## 1級建築施工管理検定合格目指して講習会開催

沖建協は4月4日、5日、10日の3日間、建労センターで1級建築施工管理技術検定一次試験の受験対策講習会を開催した。7月21日に実施される検定試験合格に向けたもので、19人が受講した。

講師を玉城保氏(担当「施工計画」「建築一般I・II(仕上げ)」「品質管理」「工程管理」)、成底佐一郎氏(担当「建築一般I・II」)、比嘉良忠氏(担当「安全管理」「法規I・II」)が務め、検定に向けて重点箇所を中心に解説した。

1日目の講習で玉城氏は「検定は問題集を繰り返して7、8割を目標にしてほしい。本当に理解するのは現場を経験する中でいい」と呼び掛けた。



試験に向けて対策を学ぶ受講生ら(左上)、講師の玉城氏(右上)、講師の成底氏(左下)、講師の比嘉氏(右下)



## ■ 浦添・西原支部が施設整備の現場を視察

浦添・西原支部(名嘉太助支部長)は3月14、15日に県内視察研修を実施した。同支部総合企画委員会(久保田旭委員長)が企画したもので、支部会員ら16人が参加した。

今回の視察は、浦添市及び西原町で跡地利用・再開発などの大型事業が控えていることから、視察を通して見識を高めることを目的に実施した。

1日目は国道58号那覇北道路・那覇港臨港道路(若狭港町線)と那覇空港自動車道・小禄道路(田頭地区)の2現場のほか、金武町でギンバル地区でKINサンライズビーチ海浜公園(2022年供用開始)と屋内運動場(2023年供用開始)を視察。さらに宜野座村で県立農業大学校移転整備事業の現場などを視察した。

2日目は名護市内で21世紀の森公園サッカー・ラグビー場と名護博物館(どちらも2023年完成)の担当者から事業についての説明を聞いた。最後に東村で福地川河口海浜公園(2015年供用開始)を視察した。

視察を終えた内間司副支部長は「跡地利用や再開発には国や県、市町村との連携が重要と感じた。浦添市・西原町の発展につながるインフラ整備



若狭港町線視察の様子



名護博物館で参加者で記念撮影に貢献できるよう、支部として積極的に提案していきたい」と振り返った。

## ■ 那覇支部が道路ボランティア活動で表彰

那覇支部(長山宏支部長)は3月19日、那覇市役所で行われた第14回道路関連ボランティア懇談会で、知念覚市長から道路ボランティア活動に貢献した団体として表彰された。

同懇談会では、道路ボランティア活動団体と那覇市が道路の維持管理について意見交換等が行われたほか、15~16年間の長期間、道路ボランティア活動を行っている団体が表彰された。

懇談会で知念市長は「道路の美化清掃活動等に貢献いただいた14団体の功績を讃える。市の発展に向け、引き続きご協力お願いします」と呼びかけ、各団体に表彰状を授与した。

那覇支部は那覇市と2008年に道路ボランティア



知念市長(前列左から5人目)と受賞者の皆さん協定を締結。支部会員企業の事務所周辺の道路清掃活動を続けている。

## 支部活動報告

## ■宮古支部がトライアスロン大会に寄付金贈呈

宮古支部(平良正樹支部長)は第38回全日本トライアスロン宮古島大会(4月14日開催)支援などを目的に、大会事務局の楚南幸哉参事に寄付金を贈呈した。

2日に支部事務所で行われた贈呈式で平良支部長は「観光客の増加に伴い市内の交通量も増えているが、支部としてボランティア活動を行い安全に配慮する。大会が成功することに期待している」と述べ、寄付金を手渡した。楚南参事は寄付に対する謝意を述べ「皆様のご協力により大会が運営されている。より一層、安全・安心な大会を目指して頑張っていく」と意欲を示した。

大会は「海・風・太陽(ていだ) 熱き想い 君を待つ」をテーマにスイム3キロ、バイク123キロ、ラン35キロで行われる。今年は参加人数を前回大会の



平良支部長(左から3人目)が楚南参事(同2人目)に寄付金を贈呈した。1200人から1500人に拡大。100人の地元枠を設け、国内トップ選手や海外の選手らも出場した。宮古支部では、新型コロナによる中止期間を除いて、毎年大会運営などに役立ててもらうため寄付を行い、大会当日のボランティア活動にも取り組んでいる。

## ■那覇支部が防犯パトロールを実施

那覇支部(長山宏支部長)は3月29日、那覇小学校や若狭小学校周辺で防犯パトロールを実施し、支部北分会から20人あまりが参加した。

パトロールには那覇警察署の上間明巡查部長も同行。出発式で上間巡查部長は「皆さんの防犯活動のおかげで抑止できているところもある。住みよいまちづくりのために協力いただきたい」と呼びかけた。パトロールは2班に分かれて実施。参加した(株)オリジン建設の照屋美香さんは「パトロールは地域の防犯に役立つ活動なので、今後も協力していきたい」と話した。



パトロールに参加した支部のメンバー

## ■南部支部が防犯パトロール

南部支部(徳元猛支部長)は4月3日、南城市のイオンタウン南城大里店で実施された与那原地区防犯協会・与那原警察署主催の防犯パトロールに参加した。

パトロールには徳元支部長、新垣澄夫事務局長のほか、与那原警察署員2名、与那原地区防犯協会関係者8名が参加。店内で「特殊詐欺に注意」や「違法薬物根絶」などのチラシを配布した。南部支部では与那原署管内の防犯パトロールに定期的に参加しており、徳元支部長は「支部会員とともに今後も可能な限り参加したい」と話した。



パトロールに参加した皆さん



## 現場における「働き方改革」の推進に向けた取り組みについて

令和6(2024)年4月からの「時間外労働の上限規制」については、更なる「働き方改革」を推進していくことが必要であり、「工事資料の省力化・DXの促進」「現場協議の効率化」による生産性向上について、受・発注者間の共通認識で取り組むことが不可欠であります。ここで、県内では各発注者が現場における生産性向上を図る目的とした取り組みが行われているところであります。

つきましては、下記をご確認頂き各企業の現場へ周知頂き、円滑な施工に向けてご活用をお願い致します。

### 【沖縄県土木建築部】

#### 1. 工事円滑化会議(令和4年3月1日より適用)〈生産性向上〉

□目的: 工事着手前に、現場条件、施工計画、工事工程等について、受注者と発注者、現場技術業務(施工管理)が一堂に会し、情報共有を行い「円滑な工事」を実施することを目的として開催

※ポイント: 土木建築部が発注する全ての建設工事を対象とし、受注者が希望する場合を対象

#### 2. 土木工事施工条件明示の手引き(令和4年1月)〈生産性向上〉

□目的: 適切な条件明示の徹底を図り、適正な工期設定を行い、工事の円滑な執行(設計変更等)を行うため本手引きを作成

※ポイント: 設計図書に明示すべき項目・事項について、受・発注者の意見等をとりまとめ、沖縄県独自の記載例を記載 ※今後も、受・発注者の意見等を踏まえ、記載例を追記改定していく予定

#### 3. 土木工事書類簡素化の手引き(令和4年3月)〈生産性向上〉

□目的: 工事書類の簡素化に向けて本手引きを作成

※ポイント: ①土木工事の書類作成にあたって、土木工事共通仕様書に準じた、受発注者の役割を明記  
②添付書類の削減※削減可能な添付書類について明記

※上記取り組みについてのご意見による工事成績等への影響は一切ございませんので、積極的なご意見を下さいますようお願い致します。

○沖縄県土木建築部 URL: <https://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/gijiken/kankeitosyo.html>



### 【九州地方整備局】

#### 1. 工事の適正執行のための「勘所」

URL: [働き方改革に関する取り組み 国土交通省 九州地方整備局](#)

令和元年に「担い手三方が改正」され、令和6年4月から罰則付き時間外労働規制の適用を控え、発注者責務として明確化された事項等に大きく反した運用とならないよう、発注者として適正執行に努めるべく運用の「勘所」としてまとめた内容。



#### 2. 建設業の働き方改革推進に向けた取り組みに向けた発注者への周知チラシ

URL: [九州地方整備局 建政部:建設産業行政>建設業](#)

・公共工事発注者と民間建設工事発注者へ

建設業の働き方改革推進のため、適正工期での工事発注を! (P10.11参照)

資材価格高騰・賃金上昇を踏まえた適正価格での契約を!



### 【内閣沖縄総合事務局】

沖縄総合事務局では、この度、沖縄総合事務局開発建設部版の「土木工事電子書類スリム化ガイド(以下、「スリム化ガイド」という。))を作成し、運用することとしました。

スリム化ガイドは、受発注者間で作成書類の役割分担の明確化、書類の電子化、遠隔臨場やWEB会議の活用等を踏まえ、インフラ分野のDXを推進し、円滑な工事の施工を図るとともに受発注者双方の働き方改革を推進します。

・土木工事電子書類スリム化ガイド(R6.3)



・土木工事電子書類作成マニュアル(R6.3)





# お知らせ

## 教えてください！我が社の働きやすい職場づくり

Q  
A



職場の働き方改革や安全管理、どんなことやってますか？

沖縄道路(株)  
営業部  
大城 雅人さん



- ・原則、土日を閉所日として従業員の休息を図っています。また、各元請現場でも週休二日制を実施しています。
- ・毎年、交通事故の無事故無違反達成者に対して、表彰し社員の安全運転意識向上に努めております。



健康管理や福利厚生、何かやってますか？

- ・毎年、生活習慣病予防健診・労災二次健診の受診を積極的に呼びかけ、共に受診率100%を達成しています。
- ・現場作業員へ空調服を支給し、熱中症対策に努めています。



総務部  
志良堂 篤さん



社員向けの支援など、どんなことやってますか？

- ・地域イベントへの参加（ハーリー大会や草野球チームを結成して大会出場）や、社員研修旅行を通して社員の親睦を図っています。
- ・資格取得支援制度や資格手当の拡充などに取り組み、社員の自己成長をサポートしています。



工場  
玉城 太樹さん



ありがとうございました！  
今後とも、働きやすい職場づくりの取り組み紹介を通して、建設業の魅力を幅広く発信していきます。皆さんからの情報提供お待ちしております！

## 沖縄県内の公共工事動向（令和6年3月分）

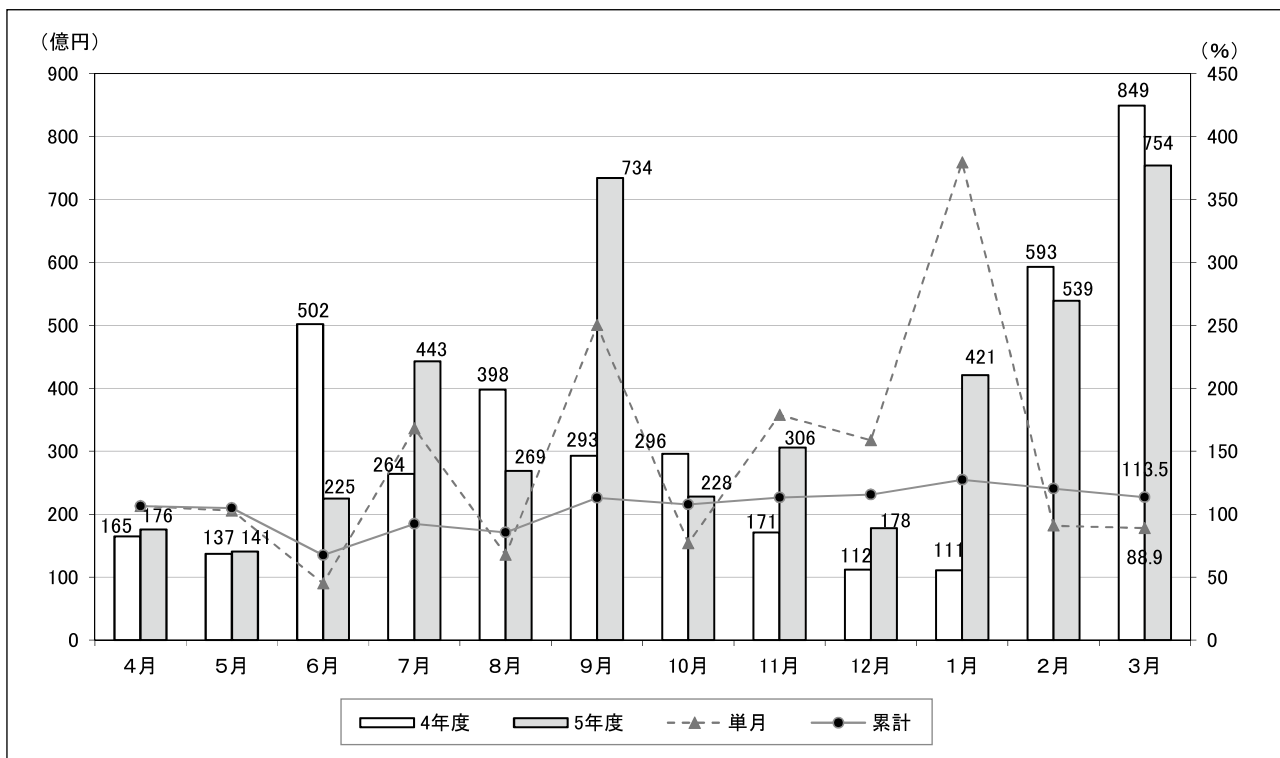
西日本建設業保証（株）沖縄支店

### ▼ 概況

（単位：件、百万円、％）

	当 月		前年同月比		累 計		前年同期比	
	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額	件数	請負金額
国	125	51,333	198.4	113.9	541	222,902	111.5	118.9
独立行政法人等	0	1,556	—	10.6	24	24,027	64.9	69.1
県	80	9,451	86.0	115.8	785	66,232	94.6	112.5
市町村	76	10,914	73.1	66.9	1,482	106,672	102.4	115.5
その他	7	2,203	87.5	302.7	115	22,190	95.0	137.9
令和5年度	288	75,459	105.9	88.9	2,947	442,024	100.9	113.5
令和4年度	272	84,927	118.3	154.9	2,920	389,555	94.7	101.3
令和3年度	230	54,839	100.9	160.8	3,085	384,698	96.9	124.7
令和2年度	228	34,094	102.7	95.5	3,183	308,572	98.1	99.9
令和元年度	222	35,684	98.2	88.3	3,243	308,770	101.0	104.3

### ▼ 月別請負金額、単月・累計前年対比の推移





# 人材開発支援助成金の案内

人材開発支援助成金は、労働者の職業生活設計の全期間を通じて段階的かつ体系的な職業能力開発を効果的に促進するため、事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるための職業訓練などを計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

## ～申請の前に～

事業主は、職業能力開発促進法第8条において、その雇用する労働者の多様な職業能力開発の機会の確保について配慮するものとする、とされています。職業能力開発促進法では、それら労働者に関する職業能力の開発及び向上が段階的かつ体系的に行われるよう、「**職業能力開発推進者**」の選任と「**事業内職業能力開発計画**」の策定を、事業主の努力義務としています。

人材開発支援助成金では、従業員の計画的な職業能力開発に取り組む事業主等を支援するため、この「**職業能力開発推進者**」の選任と「**事業内職業能力開発計画**」の策定・周知をしている事業主等を対象としていますので、**訓練実施計画届の提出までに選任・策定、従業員への周知を行っていることが必要です。**

※選任・策定後の内容の変更に係る届出等は不要です。

## 人材育成支援コース

職務に関連した知識・技能を習得させるための訓練を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部を助成します。

### ① 人材育成訓練

→職務に関連した知識・技能を習得させるための10時間以上の訓練

### OFF-JT (OFF the Job Training)により行われる訓練

事業活動と切り離して座学などにより行う訓練で、**事業内訓練**または**事業外訓練**で計画する必要があります。

### ② 認定実習併用職業訓練

→厚生労働大臣の認定を受けた実習併用職業訓練

### OJTとOFF-JTを効果的に組み合わせて実施する訓練

②は、実習併用職業訓練として厚生労働大臣の認定を事前に受けている必要があります。

### ③ 有期実習型訓練

→有期契約労働者等に対し、正規雇用労働者等に転換するための訓練

### お問い合わせ先

沖縄労働局職業安定部  
職業対策課  
助成金センター  
TEL：098-868-1606  
FAX：098-868-1612

## 【人材育成支援コースの助成率・助成額等】

訓練内容	対象労働者	訓練期間	訓練時間	経費助成率 ( )内は大企業	賃金助成 ( )内は大企業	OJT実施助成 ( )内は大企業
人材育成訓練 (OFF-JT)	正規・非正規	定めなし	10時間以上	正規：45%(30%) 非正規：60% 正社員化：70%		—
認定実習併用職業訓練 (OJT+OFF-JT)	主に新入社員 (正規・非正規)	6か月以上 2年以下	1年当たりの 時間数で 850時間以上	45%(30%)	760(380)円 /時・人	20(11)万円
有期実習型訓練 (OJT+OFF-JT)	正社員転換を 目指す者 (非正規のみ)	2か月以上	6か月当たりの 時間数で 425時間以上	60% 正社員化：70%		10(9)万円

※令和5年度予算の成立が前提のため、今後変更される可能性があることにご注意ください。

〈各コースの申請期限〉

○訓練実施計画（訓練様式第1号）

→訓練開始日から起算して1カ月前までに提出するようお願いいたします。（厳守）

例：訓練開始日が7月1日である場合、6月1日が提出期限

訓練開始日が7月15日である場合、6月15日

訓練開始日が7月31日である場合、6月30日（6月31日がないためその前日）

訓練開始日が9月30日である場合、8月30日（前月の同日が期限）

訓練開始日が3月29日、30日、31日である場合、いずれも2月28日（閏年は2月29日）

※新たに雇い入れた被保険者のみを対象とした訓練等、雇い入れ日から訓練開始日までが1カ月以内である場合、訓練開始日から起算して原則1カ月前です。

※訓練実施計画届提出時において、提出が困難な添付書類がある場合は、その旨を申し出た上で訓練開始日の前日までに提出して下さい。

## 働き方改革で働きやすい環境に

土木業は若手の人材が減ってきている現状がありますが、何もない土地や海などに一から建設物を施工して竣工した時の喜びや建物が残る事などがとてもやりがいがあります。

また、土木ってキツイだろうなとか思っていると思いますが、働き方改革で他の業界よりも働きやすい環境が整っていると思います。最近ではICT導入で土木・建築の事が全然分からない若手が、経験の長い先輩達と同じぐらいの能力を持つことが可能になります。若手にとってチャンスだと思ってます。一緒に県内建設業を盛り上げていきましょう。

### 担当した現場



「牧港漁港東防波堤築造工事 (R4)」写真管理担当を一人で任されて不安でしたが、上司に聞いたり、写真管理基準書を読んだりして竣工まで担当することができ、自信になっています。



### 石川高等学校出身

#### 知念 航平さん(23歳)

(株式会社沖永開発 工事部)

ちねん・こうへい/うるま市出身/  
2019年3月石川高等学校卒業/  
2021年3月サイ・テク・カレッジ卒業/  
2022年4月株式会社沖永開発入社

**入職のきっかけ:** 土木工事や安全施設の施工に興味があり、会社見学や会社の現場の雰囲気がとてもよく、また、自社で標識板などを1から製作しているところに興味を持ち、入職しました。

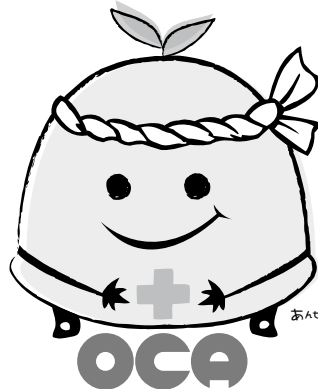
**将来の夢:** 1級土木施工管理の資格を取得し、現場代理人になる事が夢です。

**休日の過ごし方:** マリンスポーツ、サウナ、筋トレ

## 沖建協「見える化」イメージアップキャラクター

# 「あんぜんぼーや」を現場へつれてって!!

### 地域と共に、未来を築く



Okinawa General  
Contractors  
Association

あんぜんぼーや

私たちは、沖縄県建設業協会会員です。



建設業界のイメージアップと沖縄県建設業協会会員の「見える化」を図るため、協会のイメージアップキャラクター「あんぜんぼーや」のシールを作成しました。(A4サイズ、A3サイズ)

協会会員が施工する建設現場の出入り口など人目に触れる機会の多い場所に貼って、協会会員であることを示すPR活動に使用してください。

追加が必要な場合は、所属支部窓口で配布します。



## 2024年4月の動き

日	曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
3	水	【中止(津波警報発令)】沖建協「新入社員研修(北部地区)」～4/4(木)迄(北部建設会館)	
4	木	・沖建協「1級建築(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(1/3回目)」(建労センター)	
5	金	・沖建協「1級建築(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(2/3回目)」(建労センター)	
8	月	・沖建協「新入社員研修(中部地区)」～4/9(火)迄 (日建学院うるま校)	
10	水	・沖建協「1級建築(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(3/3回目)」(建労センター) ・沖建協青年部会「役員会」(建労センター)	・沖縄県道路利用者会議「理事会」(那覇市)
11	木	・沖建協「新入社員研修(那覇地区)」～4/12(金)迄 (建労センター)	・沖縄県経済団体会議「本会議」(那覇市)
15	月	・沖建協青年部会「通常総会」(船員会館)	・沖縄県教育庁「県立高等学校就職指導担当者等連絡協議会」(沖縄市)
17	水	・沖建協「沖縄防衛局 入札契約制度・建設工事説明会」 (建労センター) ・沖建協南部支部「総会」(サザンビーチホテル)	
18	木	・沖建協「実践型人材育成訓練」～6/11(火)迄 (那覇地域職業訓練センター) ・沖建協「工業高校教諭との意見交換会」 (建労センター) ・沖建協北部支部「総会」(ゆがふいんおきなわ) ・沖建協中部支部「総会」(中部建設会館) ・沖建協那覇支部「総会」(ハーバービューホテル)	・沖縄県磁気探査協会「磁気探査技士資格制度検討委員会」(浦添市) ・建退共「支部事務担当者会議」(東京都)
19	金	・沖建協八重山支部「総会」(八重山建設会館) ・沖建協宮古支部「総会」(宮古建設会館) ・沖建協浦添・西原支部「総会」(建労センター)	
22	月		・沖縄地方非常通信協議会「定期総会・表彰式・防災通信講演会」(那覇市)
23	火	・沖建協「地域統括リーダー研修(那覇～中部)」 (建労センター)	
24	水	・沖建協「地域統括リーダー研修(北部)」 (北部建設会館)	・建設業振興基金「監理技術者講習」(浦添市)
25	木		・沖縄県防衛協会「理事会」(那覇市) ・全国技士会連合会「運営委員会」(東京都) ・九建協「専務理事・事務局長会議」(長崎県) ・九建協「会長会議」(長崎県) ・沖縄平和賞委員会「総会」(那覇市)
26	金	・沖建協・建産連「合同企業説明会2024事前説明会」 (建労センター)	
30	火	・沖建協「総務委員会」(建労センター)	

## 2024年5月の行事予定

日 曜	沖建協・建産連・土木技士会・青年部会等	その他会議・講習会等
1 水	・沖建協「正副会長会議」(沖建協委員会室)	・沖縄しまたて協会「しまたてい編集委員会」(浦添市)
7 火	・沖建協「役員会」(建労センター)	・沖縄県道路利用者会議「定時総会」(那覇市)
8 水		・沖縄県職業能力開発協会「理事会」(那覇市)
9 木		・沖縄県産業教育振興会「常任理事会」(那覇市)
13 月		・宮崎県建設業協会「九州・沖縄各県建設業協会との情報交換会」(宮崎県)
14 火		・沖縄県廃棄物不法処理防止連絡協議会(那覇市) ・暴力団離脱者社会復帰支援協議会「総会」(那覇市)
15 水		・沖縄不発弾等対策協議会「臨時連絡会」(那覇市) ・沖縄県「入札参加資格審査及び等級格付基準に関する意見交換会」(那覇市)
16 木		・労働局「学卒求人確保に係る要請」(那覇市)
17 金	・沖建協「表彰式、総会」(那覇市)	
20 月	・沖建協青年部会「広報委員会」(建労センター)	
21 火	・建設会館「取締役会」(建労センター)	・沖縄県就労支援事業者機構「通常総会」(那覇市)
27 月		・沖縄県職業能力開発協会「総会」(那覇市)
29 水	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(1/3回目)」(建労センター)	
30 木	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(2/3回目)」(建労センター)	・県産品奨励月間実行委員会(那覇市)
31 金	・沖建協「1級土木(一次)施工管理技術検定試験受験対策講習会(3/3回目)」(建労センター)	・全国土木技士会「定時総会」(東京都) ・建災防「役員会」(那覇市)

### [5月号会員の異動]

今月の会員の異動はありません。



沖建協会報 2024年 5月号 (第648号)  
令和 6年 5月 1日 発行  
発行人 源河 忠雄

発行所 一般社団法人 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL.098 (876) -5211  
FAX.098 (870) -4565  
編集 株式会社沖縄建設新聞



# 建退共制度のご案内

この制度は、建設現場で働く方々のために、「中小企業退職金共済法」という法律により国が作った退職金制度です。

事業主の方は、現場で働く方々の共済手帳に働いた日数に応じて、掛金となる共済証紙を貼り、その労働者が建設業界で働くことをやめたときに、建退共から退職金を支払うといういわば業界全体での退職金制度です。

## I. 退職金の予定運用利回り掛金日額の変更について

新型コロナウイルス感染症拡大に端を発する金融市場の大幅な変動等により、建設業退職金共済制度の累積余剰金が減少し、今後も厳しい状況が見込まれていることから、中小企業退職金共済法第 85 条において検討することとされている、建設業退職金共済制度の退職金額に係る予定運用利回りの見直し等について、労働政策審議会勤労者生活分科会中小企業退職金共済部会において検討されました。

そこで、運用利回りの見直しについては、制度の魅力を持続しながら、できるだけ制度の安定的な運営を図るべく、予定運用利回りを現行の 3.0% から 1.3% に引き下げることとなり、その際、制度の魅力を損なわないように掛金日額を 10 円引き上げて 320 円とすることも併せて決定されました。

## II. 公共工事における建退共制度の履行確保について

### 1. 電子申請方式の推進

電子申請方式は、掛金の納付状況が共済契約者及び労働者ごとに毎月正確に把握できるため、掛金の納付実態が透明化され、適正な掛金納付の推進に寄与するものであることから、電子申請方式の普及及び利用促進を図る。

### 2. 建退共対象労働者の的確な把握と対象労働者に対する確実な掛金充当の推進

共済契約者が建退共対象労働者数を的確に把握するため、従来実務上使用される例のあった「辞退届」に代わるものとして、機構が「建設業退職金共済制度加入労働者数報告書」の様式を定める。

### 3. 履行確認の強化等

(1) 受注者は、掛金収納書の提出用台紙(新設)に当該工事における共済証紙購入の考え方を記載し、発注者に提出するものとする。

(2) 受注者は、工事完成後、労働者延べ就業日数、建退共の掛金充当日数等を示す「建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表」(新設)を発注者に提示するものとする。

(3) 受注者は、工事完成後 1 年間、次の①、②及び③の資料を事務所に備え付けるものとする。資料の事務所への備え付けは、電磁的記録をもって行うことができるものとする。

①建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

②建退共の掛金充当状況を示す資料

イ 電子申請方式の場合：機構が発行する掛金充当書

ロ 証紙貼付方式の場合：工事別共済証紙受払簿(新設)並びに建退共制度に係る被共催者就労状況報告書及び建設業退職金共済証紙貼付状況報告書

③労働者の就労状況を示す資料

作業員名簿(CCUSを活用すれば、作業員名簿は容易に作成可能)

### 4. 実施時期

履行確認の強化等については、令和 3 年 4 月以降に発注される公共工事から実施する。なお、工事別共済証紙受払簿(新設)については、令和 3 年度内においては、受注者の準備が整い次第実施する。

## 国の制度 **6** つの特長

**1** 国の制度なので安全確実かつ簡単

**2** 退職金は企業間を通算して計算

**3** 国が掛金の一部を補助

**4** 掛金は損金扱い

**5** 経営事項審査で加点

**6** 電子申請で手続き可能

●お問い合わせは 〒901-2131 沖縄県浦添市牧港五丁目6番8号

**建退共沖縄県支部** 電話 098-876-5214

知ってほしい、より安心の制度。



**掛金負担が軽減**  
契約者割戻金制度がスタート  
(令和4年4月より)

**手厚い補償**  
保険金区分合計  
最高5,000万円

**労働者と企業のリスクをカバー**

**今すぐ、ご加入を!**

制度が変わって、安心充実。

法定外労災補償制度

# 建設共済保険

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

### 育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

### 労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

### 建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社) 沖縄県建設業協会  
〒901-2131 浦添市牧港5-6-8  
Tel. 098-876-5211 Fax. 098-870-4565



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



**0120-913-931**

受付時間 午前9:00～午後5:00(土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



令和6年4月から沖縄県、名護市、今帰仁村で運用開始！

# 電子保証のご案内

WEBで完結

## 電子保証とは？

書面の「保証証書」に代わり「電子証書」(保証証書に記載する内容が記録されたデータ)を受発注者がインターネットを通じて確認することができる仕組みです。

## ご利用の要件

- ① 発注者が電子保証に対応していること
- ② お客様が「e-Net保証」を利用し保証申し込いただくこと



## ご利用者の声

お客様



- ・保証内容をすぐに確認できて、発注者への提出手続きもスムーズにできました
- ・郵便を待たなくてよく、証書を受取りに行く必要もないので助かりました
- ・「e-Net保証」の操作は思った以上に簡単でした

発注者



- ・電子保証のおかげで請負契約や前払金の手続きをスムーズに進めることができました
- ・多くの受注者に利用してもらえると、発注者としても助かります

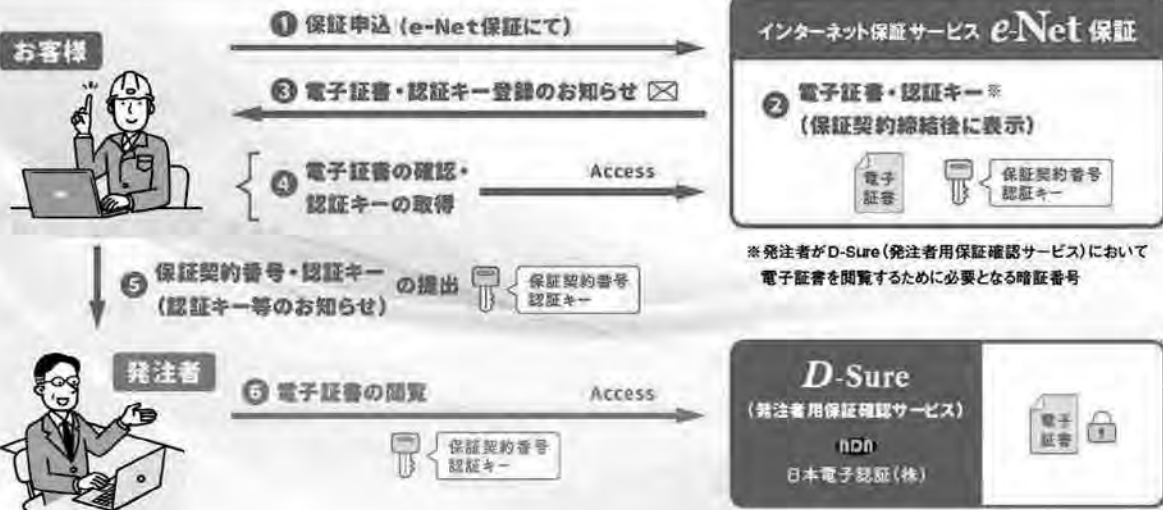
## 電子保証に対応済みの県内発注者一覧

※令和6年5月時点

- ・国 : 沖縄総合事務局、国土交通省(大阪航空局etc.)、農林水産省(水産庁etc.)
- ・県市町村 : 沖縄県、名護市、うるま市、沖縄市、宮古島市、石垣市、今帰仁村、恩納村、竹富町
- ・学校関係 : 琉球大学、沖縄科学技術大学院大学、沖縄工業高等専門学校
- ・その他 : NEXCO西日本

## 電子保証の仕組み

まだご利用いただけない方は弊社までご連絡ください



西日本建設業保証株式会社 沖縄支店

電話：098-876-1981



# 第16回 島の魅力

## 沖縄県建設業協会青年部会

【作品応募期間】令和6年6月3日(月)▶8月16日(金)(当日消印有効)

【表彰式】令和6年11月18日(月)県庁1階ロビー(予定)



Photo  
コンテスト  
フォトコンテスト

### 【テーマ】 「人」の部

**建設業で働く人々を題材**  
にした作品【撮影場所：沖縄県内】  
土木・建築・設備・その他の工事現場で  
「いい仕事した姿」「人間味あふれる姿」  
「真剣な姿」働く人々をとらえた作品

★キーワード…技術・技術・連携・安全・  
裏方・親睦・仲間・家族・笑顔・地域、等

### 【「造」の部

**建設業が造りだす構築物を題材**  
にした作品【撮影場所：沖縄県内】  
沖縄県内で施工中、又は既に竣工した  
構築物等「美しい様子」「存在感のある  
様子」「象徴的な様子」で街や人々の  
よりどころとなっている

★キーワード…技術・工法・規模・最大・  
デザイン・自然・街並・都市・調和、等

### 【賞】 各部門

最優秀賞 1点 (賞状・賞金 5万円)  
優秀賞 2点 (賞状・賞金 2万円)  
特別賞 1点 (賞状・賞金 1万円)  
(学生対象)  
入選 10点 (賞状・賞金 5千円)

#### みんなの公共(建築・土木)賞

・建築賞(造の部) 2点 (賞状・賞金 1万円)  
・土木賞 1点 (賞状・賞金 1万円)  
沖縄建設新聞社長賞 1点 (賞状・賞金 1万円)  
現場で働く美ら小町賞 1点 (賞状・賞金 1万円)  
(人部門より) ※入賞は各部門1人1点とします。

お問い合わせ先・応募先

沖縄県建設業協会青年部会  
第16回 フォトコンテスト  
—島の魅力— 係  
〒901-2131 沖縄県浦添市牧港5-6-8  
TEL: 098-876-5211  
FAX: 098-870-4565  
<http://www.okikenkyo.or.jp/>



青年部会島の魅力 検索



ますます安心。充実の制度。

### 建設共済保険

今すぐご加入!

0120-913-931



県内企業が集結！  
沖縄の暮らしと未来を創る仕事に  
君もチャレンジしませんか？



女性も  
活躍中！



普通科・商業科  
高校も大歓迎！  
(学科不問)

# 2024 2025年 3月卒 建設産業 合同企業説明会

県内建設関連企業・専門学校(進学)ごとにブースを設置！  
県内学生も大歓迎(高校、専門学校、高専、短大、大学)※学科不問

会場を自由に巡回OK!

担当者より対話形式で話を聞くことが出来ます

保護者のご参加もお待ちしております

2024年  
**6/7 金** 10:00~15:30  
沖縄コンベンションセンター(展示棟)



参加企業

業種 土木・建築・電気・管工事・造園・設計・コンサル・経理・営業・総務等予定  
その他進学 沖縄職業能力開発大学校・専修学校パシフィックテクノカレッジ学院・東海工業専門学校等  
※参加企業・学校は予告なく変更される場合がございます。

問合せ先

(一社) 沖縄県建設業協会 TEL.098-876-5211



ホームページも  
ご覧ください！

■主催：一般社団法人沖縄県建設業協会・一般社団法人沖縄県建設産業団体連合会 ■後援：沖縄労働局、沖縄県、沖縄県教育委員会